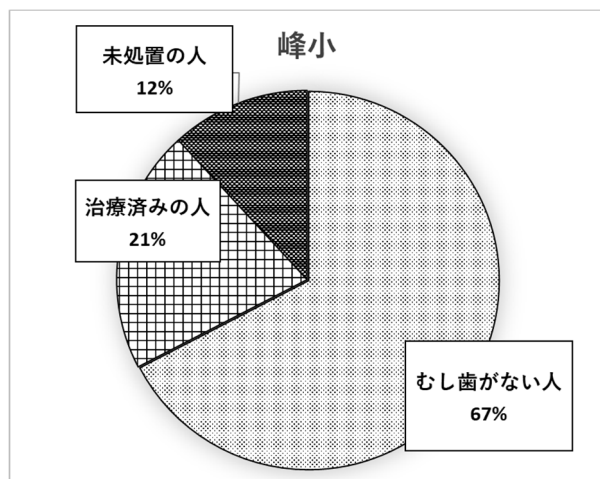


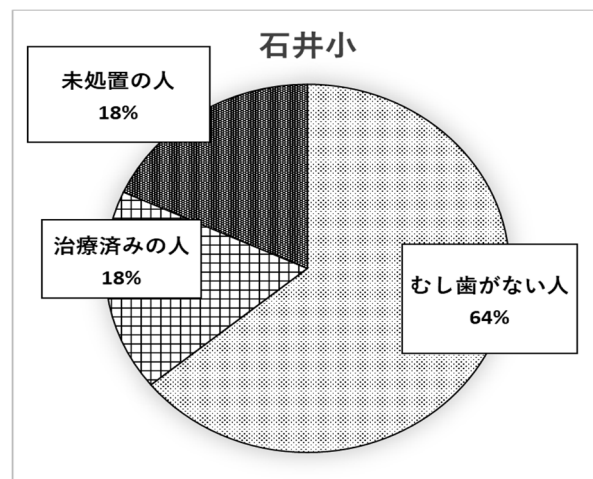
陽東地域学校園ほけんだより

令和6年1月
陽東地域学校園
健康増進分科会

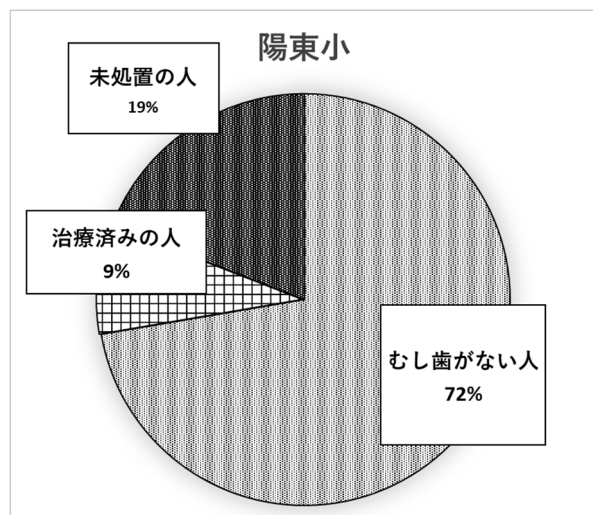
定期健康診断の歯科検診の結果から、学校ごとに、「むし歯がない人」、「むし歯を治療していた人」、「未処置の歯がある人」をグラフ化しました。自分の学校や地域の学校の歯のようすをお知らせします。



峰小では、未処置歯がある人は12%で、県や全国と比較しても低い状態です。治療率が高く、むし歯がない人と合わせると、88%が適切なセルフケアや歯科医院等での定期的な管理をされているようです。

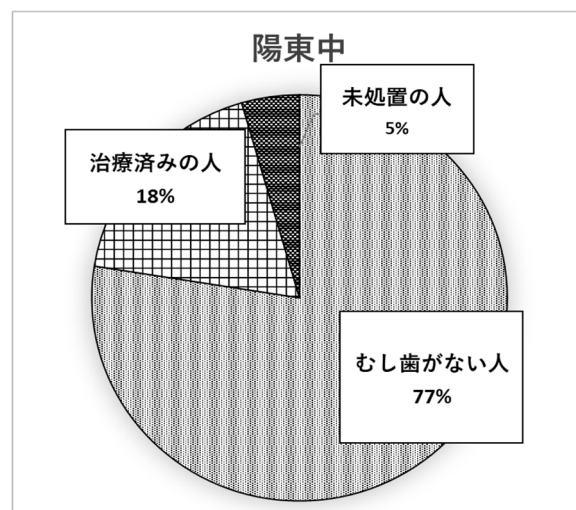


石井小では、むし歯のある人（治療済み＋未処置歯のある人）が、昨年度の44.8%から今年度は35.9%と、大きく減少しました。歯科医院での定期的な管理も、よくされているようです。



陽東小では、むし歯のない児童・治療済みの児童は合わせて81%と定期的な管理をしている児童が多くみられました。

未処置の児童については、1月までの歯科受診率が48%と約半数の児童が治療済みになっています。



陽東中学校のむし歯のない生徒は77%と多く、未処置歯のあった生徒も5%と少ない結果でした。

年齢とともに歯周疾患が増えていくため、口腔ケアについて啓発を続けていきます。

峰小



1年生を対象に、養護教諭による歯みがき指導を行いました。また、4月の歯科検診の結果、歯垢の付着や歯肉の状態を指摘された児童には、個別の歯みがき指導を行いました。
今年度は、「よい歯の優良学校」として県医師会長賞と県歯科医師会長賞を受賞しました。

石井小



6月は、保健委員会の児童が歯みがきについて全校児童に向けて放送をしました。3年生歯の健康教室では、保護者の方に参観いただき、歯科校医や歯科衛生士さんと歯の健康について学びました。冬休みは、全校児童が家庭で染め出しを実施しています。

陽東小



歯の役割や飲み物に入っている砂糖の量について保健室前の廊下に掲示を行い、全校児童が歯と口について興味を持てるように工夫しました。

陽東中



毎年染め出しを行い、確認することによって、歯みがきの癖を見直し、自分の歯並びに合わせた正しいブラッシングにつなげます！

20本以上の歯があれば、食生活にほぼ満足することができると言われています。そのため「生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わえるように」との願いを込めて、平成元年より厚生労働省と日本歯科医師会が「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう！」と『8020運動』を始めました。楽しく充実した食生活を送り続けるためには、一生のライフステージで健康な歯を保つことが大切です。陽東地域学校園で『8020運動』を目指していきましょう！

